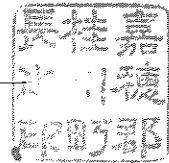


20桂企調第266号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

桂川町長 井上利一



(企画財政課企画調整係)

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県桂川町

地方を活性化するための方策の一つとして、道路整備は重要な施策であるが、現在の地方財政は危機的な状況下であり、道路整備を展開する余裕はない。その事業促進のため、道路特定財源を原資にする地方道路整備臨時交付金等の拡充を求めるものである。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県桂川町

○現状

地方においては、少子・高齢社会の進展と過疎化が進んでおり、その流れは今後も続くことが予想され、そのことによる財政需要は増大している。

そのような中、地方では、厳しい財政状況の下、今まで整備してきた道路の維持・管理費にも事欠く実情である。

取り分け、耐用年数を超過した橋梁の整備は喫緊の課題であるが、前述の事情により、整備促進が出来ない状況であり、危険な状況下に置かれている。

また、主要な国・県・市町村道において、歩道が未整備な道路も多く、その整備が望まれている。

○課題

- ・都市圏への通勤を可能とする道路整備
- ・公共交通機関ターミナルへの利便性を考慮した道路整備
- ・耐用年数を超過した道路・橋梁の整備
- ・少子・高齢社会に対応した道路のバリアフリー化
- ・歩行者の安全確保のための歩道設置

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

福岡県桂川町

地域の生活を支える道路ネットワークの形成とともに、交通弱者に配慮した歩道及び自転車道の整備を促進する。

また、主要な公共交通機関ターミナルへの利便性を考慮した道路整備をすることにより、都市部とのネットワーク化が図られ地方の定住促進を促していく。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県桂川町

○重点事項 ・ 地域活力の向上 ・ 歩行者・自転車への安全・安心に配慮した道路整備	○代表事例 ・ J R 桂川駅へのアクセス道路の整備 ・ 歩道及び自転車道の整備	○期待する効果や評価等 ・ 道路の整備をすることにより、福岡都市圏への通勤・通学者の駅への利便性が向上し、地域の定住促進が図られる。 ・ 歩道及び自転車道の整備をすることにより、歩行者・自転車の危険回避が図られる。	○その他
---	--	---	-------------